西幼だより

【教育目標】
しなやかに
たくましく

令和６年２月２１日
第１０号　　新潟市立西幼稚園

（西幼稚園 HP）

生活発表会では

園長　大矢　晃子

２月８日に、生活発表会がありました。年長組と年中組の子どもたちが、劇遊びなどを、おうちの方に見てもらう日です。担任の先生からの「発表会だより」に、こんなことが載っていました。「興味、関心をもった遊びを繰り返す中で、イメージが広がり、つないだお話ができあがりました。この発表会では、みんなで一つのことをすること、相手の話を聞いて自分なりに答えること、自分の思いを言葉で話すこと、自分なりにどうしていいのか考えること、など、様々な経験をしてきました。」とありました。

発表会と聞くと、取り組んできた成果を見てもらう、というイメージがあって、この日までに何度も練習して、よい姿をみてもらいたい、などと思いがちです。しかし、結果よりも、そのプロセスを大事にしていることが、幼児教育です。実際、園の子どもたちの取り組みを見ていると、やりたいことや役も日によって変わり、繰り返すことで遊びが広がり、より豊かになっている様子がありました。この姿を教師は受け止め、子どもの興味、関心を大切にぞれぞれの子どもへの願いをもち、やがては、「一人より、みんなでやると楽しいね」という思いへとつなぎます。この発表会に向かうことで、子どもたちは、まさに様々な経験をしていることがわかります。

当日、子どもたちの動きや表情から、今、楽しんでいる自分たちの遊びを、おうちの人にも知ってもらいたい、一緒に楽しさをわかって欲しい、という思いが伝わってきました。会が終わった後に、おうちの人から感想をお聞きすると、皆さん笑顔で、「今日まで、何をするかは内緒！と言われてました。」「でも、いつもこんな風に遊んでいるんだな、ということが伝わってきて、嬉しかったです。」と子どもたちへ、思いを伝えていただきました。

子どもたちの満足そうな表情を見て、その行事や活動は何のためにするのかを問い、あらためて子どもの思いを大切にした、行事・保育の在り方を考えていきたいと思います。

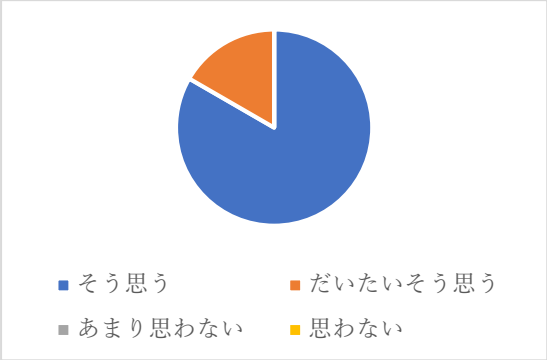
ちゅうりっぷ組は、作ったカメラで、みんなを写しています。

絵本の中のお話を楽しみながら、役になって、表現します。

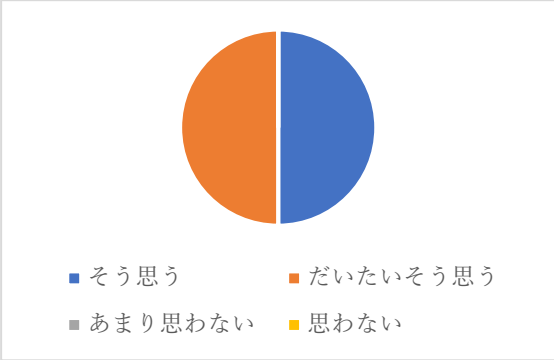
クイズが大好きな子どもたちは、クイズに答えて、宝物をもらえました！

令和５年度　西幼稚園　５歳児保護者アンケート結果

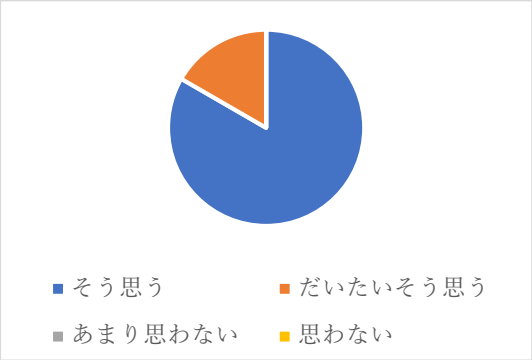
１お子さんは園で自分のやりたい遊びを楽しんでいると思いますか。



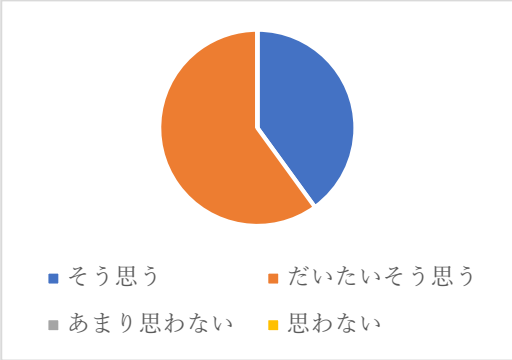
２お子さんは親しみをもって異年齢児との関わりを楽しんでいると思いますか。



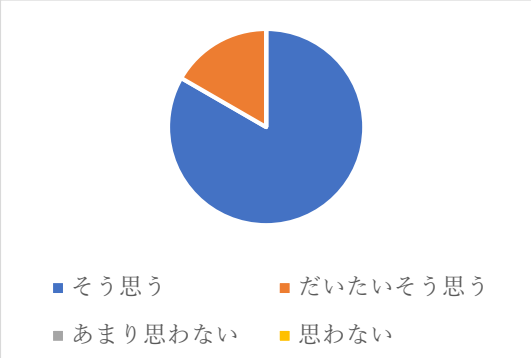
３お子さんは遊びや生活の目的に向かって自分なりにやり遂げようとする姿が見られますか



４お子さんは、自分の思い通りにいかないことがあっても、気持ちを伝えたり、自分なりに切り替えたりして、気持ちを立て直そうする姿が見られますか。



５園の教育活動（園外保育、他園との交流、運動あそびの日、音楽遊びの日、生活発表会）は、子どもの育ちにつながる経験になっていると思いますか。



アンケートの結果は、すべて肯定的評価となりました。問５の理由に、「他園との交流で自己紹介をしたり、生活発表会の人前で話すことが、自信につながっていると思います。」とありました。年長組は、これから幼稚園の修了、小学校への入学に向けて気持ちがワクワクしたり、ドキドキしたりしていると思いますが、一人一人が自信をもって、新しい生活に向かえるよう、全職員で支えてまいります。